

F-REIの最近の動き

福島国際研究教育機構

令和5年7月24日

F-REI設立後の出来事（4月）

- 4月1日 福島国際研究教育機構 設立
- 4月1日 福島高専との基本合意書の締結
- 4月5日 F-REI福島医大研究分室の開所式
- 4月5日 福島医大との基本合意書の締結
- 4月7日 中期計画及び助成等業務実施計画の認可
- 4月14日 F-REI国際アドバイザーの決定
- 4月15日 F-REIいわき出張所の開所式
- 4月15日 いわき市との基本合意書の締結
- 4月15日 F-REI設立記念シンポジウムの開催
- 4月19日 ICRU国際シンポジウム 開催
- 4月28日 令和5年度の年度計画の届出

令和5年4月1日（土） 福島国際研究教育機構 設立



福島国際研究教育機構（略称：F-REI）は、福島復興再生特別措置法に基づき、令和5年4月1日に設立された特殊法人です。福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるものとともに、我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指しています。

同日、浪江町ふれあい福祉センターで開所式を行い、岸田首相や渡辺復興大臣らが出席しました。

（1）F-REIのミッション

福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるものであるとともに、我が国の産業競争力を世界最高の水準に引き上げ、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指すことにあります。

（2）世界水準の研究推進と 成果の社会実装・産業化

F-REIでは、福島や世界の課題解決を現実のものとするため、研究開発を行うのみならず、研究成果の社会実装・産業化や人材育成についてもその主要な業務として取り組みます。あわせて、福島に既に立地している研究施設等の取組について横串を刺す調整機能を持った司令塔としての役割も果たしてまいります。

（3）創造的復興の中核拠点

F-REI設置の効果が広域的に波及するよう、地域の市町村や住民、企業・団体等との間で様々な形のパートナーシップで連携し、F-REIの施設の中だけでなく、施設の外も含めて広域的な実証研究フィールドととらえ、「世界でここにしかない多様な研究・実証・社会実装の場」を実現し、国際的に情報発信してまいります。

令和5年4月1日（土） 福島高専との基本合意書の締結

4月1日、福島工業高等専門学校（福島高専）との間において連携協力に関する基本合意書を締結しました。

今後、この基本合意書に基づき、研究開発、人材育成等に関する連携協力を進めてまいります。



令和5年4月5日（水） F-REI福島医大研究分室の開所式

4月5日、F-REI福島医大分室の開所式を開催しました。

F-REI福島医大研究分室は、F-REIとして最初の研究組織である放射生態学ユニットが置かれます。F-REIの第1期中期目標期間である7年の間に、研究グループを50まで増やし、研究開発体制を充実していく計画です。



令和5年4月5日（水） 福島医大との基本合意書の締結

4月5日、福島医科大学とF-REIとの連携協力に関する基本合意書を締結しました（2件目）。

これは、相互の研究開発、人材育成等の充実を図っていくことを目的とするものであり、今後、この基本合意書に沿って、互恵的な連携協力を進めていきます。



令和5年4月7日（金） 中期計画及び助成等業務実施計画の認可

4月7日、F-REIの中期計画及び助成等業務実施計画が主務大臣から認可されました。中期計画は、令和11年度までの7年間における中期目標を達成するための計画です。

第一期となる本中期目標期間においては、「基盤作りと存在感の提示」に重点を置くこととし、機構の施設が整備され、その活動が本格的に軌道に乗ることが見込まれる第二期中期目標期間（令和12年度～令和18年度）を見据えながら、たゆむことなく復興に貢献できるよう、取組を進めます。

令和5年4月14日（金） F-REI国際アドバイザーの決定

4月14日、国際的な知見を有する外部有識者からF-REIの運営等に関しご助言をいただくため、4名の外国人有識者に国際アドバイザーとしてご就任いただきました。

今後、国際アドバイザーからのご意見等を踏まえつつ、F-REIの国際連携や国際的な発信を一層推進してまいります。



スヴァンテ・
リンドクヴィスト博士

Dr. Svante Lindqvist

元 スウェーデン王立科学アカデミー会長



ライムント・
ノイゲバウアー博士

Prof. Reimund Neugebauer

前 フラウンホーファー研究機構理事長



フィオナ・
レイモン博士

Dr. Fiona Rayment

英国立原子力研究所フェロー



スブラ・
スレッシュ博士

Dr. Subra Suresh

前 南洋工科大学長、元 カーネギーメロン大学長

令和5年4月15日（土） F-REIいわき出張所開所式

4月15日、F-REIいわき出張所開所式が行われました。これは、量子科学技術研究開発機構（QST）が保有していたいわき出張所を、F-REIが引き継ぐこととなったものです。

今後、いわき市などとも協議をしながら、「F-REIの様々な活動の情報発信の場」など有効な活用を検討していきます。



令和5年4月15日（土） いわき市との基本合意書の締結

4月15日、F-REIいわき出張所開所式の開催にあわせ、いわき市とF-REIとの連携協力に関する基本合意書を締結しました（3件目）。

これに基づき、いわき市との間で双方の資源を有効的に活用した協働活動を推進してまいります。



令和5年4月15日（土） F-REI設立記念シンポジウムの開催

4月15日、福島県をはじめ国内外の方々に、F-REIの役割、機能、今後の活動計画等を国内外に発信するため、F-REI設立記念シンポジウムを主催いたしました。

国内外の関係者をお招きし、同時にオンライン配信を行うことによって、F-REIの取り組み・方向性を知っていただく重要なキックオフとなりました。



令和5年4月19日（水） ICRU国際シンポジウム 開催

4月19日、国際放射線単位測定委員会（ICRU）の委員をお招きし、ICRU国際シンポジウムを開催いたしました。

山崎理事長によるF-REIの事業紹介、6名の有識者の方々からテーマに沿った詳細な講演、総合討論が行われました。

※シンポジウムについては、福島国際研究教育機構（F-REI）、産業技術総合研究所計量標準総合センター（NMIJ/AIST）、国際放射線単位測定委員会（ICRU）の三者主催の形式により開催されました。



令和5年度の研究開発等業務の 運営に関する計画（年度計画）の届出

4月28日、令和5年度の研究開発等業務の運営に関する計画（年度計画）を届け出ました。

年度計画は、中期目標や中期計画を踏まえ、F-REIに期待されている成果を最大限発揮するために、令和5年度において、法人自身がどのような方向に向かうべきかを記載したものです。

「基盤づくりと存在感の提示」に向け、設立初年度における計画を達成できるよう、しっかりと取り組んでまいります。

F-REI設立後の出来事（5月～現在）

5月1日	アドバイザーボードのメンバーの決定
5月8日	理事長特別顧問の決定
5月10日	第1回新産業創出等研究開発協議会の開催
5月17日	福島大学との基本合意書の締結
5月17日	第1回F-REIトップセミナーの開催（福島大学）
5月26日	東北経済連合会 産業経済委員会での講演
5月29日	浪江町との基本合意書の締結
5月30日	会津大学との基本合意書の締結
5月30日	第2回F-REIトップセミナーの開催（会津大学）
6月13日	第3回F-REIトップセミナーの開催（相馬高校）
6月20日	市町村座談会の開催（いわき市）
6月30日	第4回F-REIトップセミナーの開催（会津学鳳高校・中学校）
7月4日	第5回F-REIトップセミナーの開催（会津高校）
7月5日	市町村座談会の開催（南相馬市）

令和5年5月1日（月） アドバイザリーボードのメンバーの決定

5月1日、アドバイザリーボードのメンバーとして出席し、F-REIの運営全般や、各事業の状況等について、幅広い見地に立った大所・高所からのご助言をいただくため、4名の有識者にアドバイザーとしてご就任いただくこととなりました。

今後、アドバイザーからのそれぞれのご知見・ご経験に基づく情報やご助言等を踏まえつつ、F-REIの活動の各方面への展開に向けて、一層推進してまいります。



石村 和彦（いしむら かずひこ）
産業技術総合研究所理事長



永田 恭介（ながた きょうすけ）
筑波大学長、国立大学協会会長



原山 優子（はらやま ゆうこ）
元 総合科学技術・イノベーション会議
常勤議員



山名 元（やまな はじむ）
原子力損害賠償・廃炉等支援機構
理事長

令和5年5月8日（月） 理事長特別顧問就任の決定

5月8日、広い業務を的確に実施していくため、外部有識者によるアドバイザー体制の一環として、2名の有識者に理事長特別顧問としてご就任いただくことといたしました。

今後、理事長特別顧問それぞれのご知見・ご経験に基づく情報やご助言等を踏まえつつ、「創造的復興の中核拠点」を目指し、各種の取組を推進してまいります。



南場 智子（なんば ともこ）
株式会社ディー・エヌ・エー
創業者・代表取締役会長



山下 俊一（やました しゅんいち）
福島県立医科大学副学長
元 量子科学技術研究開発機構高度被ばく医療センター長

令和5年5月10日（水） 第1回新産業創出等研究開発協議会の開催

5月10日、第1回新産業創出等研究開発協議会を大熊町で開催しました。

復興庁など7府省庁や県、浜通り地域等15市町村、大学、研究機関など35団体で構成され、会合では、協議会運営要領やワーキンググループの設置、中期目標及び中期計画等、当面のスケジュールについて確認しました。

第2回会合は9月以降の開催を予定しており、F-REIの事業全般について、様々な関係機関で協議し、研究開発や広域連携など進めてまいります。



令和5年5月17日（水） 福島大学との基本合意書の締結

5月17日、福島大学とF-REIとの連携協力に関する基本合意書を締結しました（4件目）。

今後、この基本合意書に沿って、包括的な連携協力を進め、両者間で進めている先行研究に加え、福島をはじめ東北の復興を実現するための研究開発や人材育成等を加速してまいります。



令和5年5月17日（水） 第1回F-REITトップセミナーの開催（福島大学）

5月17日、第1回F-REITトップセミナーを福島大学で開催しました。

本セミナーは、福島創造的復興と発展を中長期的に支える地域の未来を担う若者世代等を対象とした人材育成の取組の一環として、F-REITの役員等が講師となり、最先端の科学技術の魅力と可能性等を学生・生徒へ伝えるものです。

第1回は、講師は理事長の山崎光悦が務め、演題を「福島大学食農学類の皆さんへ ～これからどう過ごす？ 大学ライフのススメ～」とし、福島大学食農学類1年生の約100名を対象に行いました。今後も県内各地で順次開催してまいります。



令和5年5月26日（金） 東北経済連合会 産業経済委員会での講演

5月26日、東北経済連合会 産業経済委員会が仙台で開催され、山崎理事長が講演しました。

東北経済連合会は、主として東北6県・新潟の計7県において経済活動を展開している企業、団体など約800社を超える会員で構成する総合経済団体であり、東北の復興と発展に向けた活動を行っています。

今回、演題を「創造的復興 福島国際研究教育機構（F-REI）の取り組み～世界最高水準の研究推進と成果の社会実装・産業化～」とし、現地、オンラインで参加した本会員企業経営者などの約100名に対して、F-REIの事業紹介や最近の活動報告等を行いました。



令和5年5月29日（月） 浪江町との基本合意書の締結

5月29日、浪江町とF-REIとの連携協力に関する基本合意書を締結しました（全体では5件目、自治体としては2件目）。

これに基づき、浪江町との間で双方の資源を有効的に活用した協働活動を推進してまいります。



令和5年5月30日（火） 会津大学との基本合意書の締結

5月30日、会津大学とF-REIとの連携協力に関する基本合意書を締結しました（6件目）。

今後、この基本合意書に沿って、包括的な連携協力を進め、会津大学には国際的な教育・研究環境が整備されており、非常に有用な連携となることを期待しています。



令和5年5月30日（火） 第2回F-REIトップセミナーの開催（会津大学）

5月30日、第2回F-REIトップセミナーを会津大学で開催しました。

第2回は、講師は理事長の山崎光悦が務め、演題を「会津大学コンピュータ理工学部の皆さんへ ～これからどう過ごす？ 大学ライフのススメ～」とし、会津大学コンピュータ理工学部1年生などの約240名を対象に行いました。



令和5年6月13日（火） 第3回F-REIトップセミナーの開催（相馬高校）

6月13日、第3回F-REIトップセミナーを相馬高校で開催しました。

第3回は、講師は執行役の大和田裕二が務め、演題を「私の研究とF-REI（エフレイ）」とし、相馬高校2年生の約160名を対象に行いました。

大和田執行役からは自身の専門分野である解剖学、神経科学での教育・研究の経験を踏まえ、受講者に対して“教育、研究、イノベーションの重要性”を説き、受講した高校生は熱心に話を聞いていました。



令和5年6月20日（火） 市町村座談会の開催（いわき市）

6月20日、第1回目となる市町村座談会をいわき市で実施いたしました。

座談会に先立ち、市内の農業法人、エネルギー関連の企業を訪問し、視察及び意見交換を行ったほか、座談会では、地域で活躍されている方々や企業等の経営者等にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。

今回の座談会で得られたシーズやニーズは、F-REIで実施する研究開発・産業化・人材育成の取組の参考とさせていただきます。



令和5年6月30日（金） 第4回F-REIトップセミナーの開催（会津学鳳中学校・高校）

6月30日、第4回のトップセミナーを会津学鳳中学校・高校で開催しました。

講師を執行役の大和田祐二、演題を「私の医学研究とF-REI（エフレイ）」とし、中学校3年生、高校全学年を対象に行いました。

受講した約680名の生徒からは、「医学の話が聞いて面白かった。」や「説明が分かりやすかった。」などの感想が聞かれ、中学生にも分かりやすいように工夫した医学の話が大変好評でした。



令和5年7月4日（火） 第5回F-REIトップセミナーの開催（会津高校）

7月4日、第5回のトップセミナーを会津高校で開催しました。

講師は監事の中西友子が務め、演題は「植物の謎：私の歩んできた道」とし、2年生約240名を対象に行いました。

中西監事からは自身の経歴や研究成果が紹介され、受講した生徒が進路などを考えるきっかけとなっていました。講演後に質問をする生徒もいて、講演内容への関心の高さがうかがえました。



令和5年7月5日（水） 市町村座談会の開催（南相馬市）

7月5日、第2回目となる市町村座談会を南相馬市で実施いたしました。

座談会に先立ち、市内の農業法人、ワクチンを製造する企業、ロボット関連企業を訪問し、視察及び意見交換を行ったほか、座談会では、地方創生に向けて事業構想を学ぶ南相馬市プロジェクト研究員の方から多くのご意見をいただきました。

今回の座談会で得られたシーズやニーズは、F-REIで実施する研究開発・産業化・人材育成の取組の参考とさせていただきます。



世界に冠たる 「創造的復興の中核拠点」へ